

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	かかりつけ医利用促進事業			事業番号	02-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	保健福祉部健康づくり担当	細野 文和	健康づくり課	高橋 健一	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	1	健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	
		施策展開の方向	1	生涯にわたって健康に暮らせるまちをつくる	
		施策	2	安心できる地域医療体制の充実	
予算事業名	かかりつけ医普及定着促進事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	努力規定がある	
事業開始年度	開始年度	平成30年度	～	終了年度	
関連法令等	医療法				
国・県の計画等	神奈川県地域医療構想 神奈川県保健医療計画		計画期間	平成28年度～令和7年度 平成30年度～令和4年度	
関連個別計画	健康いせはら21(第3期)計画		計画期間	平成30年度～令和4年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	強い病院志向などから、多くの患者が病院に集中し、「2時間待ち3分診療」などと言われる状況も依然として続いています。多くの市民が「かかりつけ医」の必要性を理解しつつも、「かかりつけ医」が十分普及・定着していないのが現状です。				
目的 (何をどうしたいのか)	医師会など関係医療機関と連携を図りながら、「かかりつけ医」等の普及と定着を促進します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> 「かかりつけ医」の普及・定着を促進するため、医師会、歯科医師会、薬剤師会と連携し、「かかりつけ医ガイド」を作成するとともに、「かかりつけ医普及啓発講座」を開催します。 定期的な情報提供を図るため、市広報や市ホームページ等による周知を行います。 				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	かかりつけ医ガイドの作成・配布	事務調整	作成・配布	事務調整	
	かかりつけ医普及啓発講座の開催	3回実施	3回実施	4回実施	
医師会との定期的な情報交換会の開催	実施	継続実施	継続実施		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	かかりつけ医普及啓発講座参加者数	—	60人	120人	180人



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	啓発講演会の実施により、医療機関のかかり方を理解してもらうこと、及び啓発チラシを作成し市民への周知を図ります。また、かかりつけ医ガイド等の作成にむけた、医師会、歯科医師会、薬剤師会との調整を行いません。					
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外					
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者			
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先			
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容			
実施結果	項目		年度			
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	かかりつけ医ガイドの作成・配布		事務調整	事務調整		
	かかりつけ医普及啓発講座の開催		1回実施	2回実施		
	医師会との定期的な情報交換会の開催		実施	実施		
実施した取組の内容	医師会及び押せ原協同病院との事務調整を行い、「かかりつけ医普及啓発講演会」を自治会単位で1回(11/25)多職種合同研修会内で1回(11/27)実施した。また市ホームページや広報いせはらにおいても「かかりつけ医を持ちましょう」の周知を実施した。					
目標の達成状況	【指標名】		年度			
			【現状値】	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	かかりつけ医普及啓発講座参加者数		—	24名	91名	

コスト	年度		平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績				
	事業費合計 (a)		0	千円	57	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	
	内訳	国県支出金 ①		0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
		地方債 ②		0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
		その他特財 ③		0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
		一般財源 (a)-①-②-③		0	千円	57	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
	国県支出金の内容														
	その他特財の内容	受益者負担		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				前回の改定時期							
		その他													
	人件費	正規職員		0.1	人	851	千円	0.2	人	1,740	千円	0	人	0	千円
		その他の職員		0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		人件費合計 (b)		0.1	人	851	千円	0.2	人	1,740	千円	0	人	0	千円
	トータルコスト (a)+(b)			851	千円	1,797	千円								
	単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位	市民		単位						
			対象数	102416	人	102,248	人								
総事業費 / 対象数		8	円	18	円										

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	かかりつけ医普及啓発講座を2回開催しました(3回予定していたが、3回目は中止となった)。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	県・近隣市でもかかりつけ医普及啓発活動は実施しています。
有効性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	左記判断理由	予定していた講座は様々な対象へのアプローチとして実施した。継続していくことが必要と考えられます。
効率性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である(C)	B	左記判断理由	実施回数が少ないため、今後も継続していくことが必要となります。



取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	かかりつけ医普及定着促進事業の必要性は、病院と診療所の役割を市民に理解してもらい医療機関のかかり方について周知をしていくことが必要です。
令和2年度を取組方針		啓発講演会等の実施により医療機関のかかり方を理解してもらうことの啓発活動をより強化し、市民への周知を図ります。また、かかりつけ医ガイド等の作成に向け、医師会、歯科医師会、薬剤師会との検討を行っていきます。		
所管部長による総評		地域医療体制について、まちづくり市民意識調査(令和元年度)では、市民満足度が最も高い施策となっています。今後もこの体制を維持していくためには、かかりつけ医の普及・啓発が不可欠です。医療関係機関と連携を図りながら、取り組んでいく必要があります。		